

学校関係者評価報告書（2023年度）

2024年6月17日

高崎歯科衛生専門学校

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、高崎歯科衛生専門学校の
学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

2024年6月17日

校長 茂木 智

自己点検・評価責任者 田中 幸子

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的
2. 学校関係者評価の基本方針
3. 学校関係者評価委員会 出席者
4. 学校関係者評価委員会 実施日時
5. 学校関係者評価方法

II. 学校関係者評価結果

1. 教育理念・目標（重点取組）
2. 学校運営
3. 教育活動（重点取組）
4. 学修成果
5. 学生支援
6. 教育環境
7. 学生の受入れ募集（重点取組）
8. 財務
9. 法令等の遵守
10. 社会貢献・地域後見
11. 国際交流

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

自己点検・自己評価結果の客観性・透明性を高めると共に、学校関係者評価委員会の設置により継続的な連携協力体制を確保し、学校運営の更なる改善を図ることを目的とする。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員会 出席者

区分	氏名	所属
業界関係者	川嶋 淳子	高崎歯科衛生専門学校 非常勤講師 田中歯科医院 勤務
業界関係者	矢島 雅美	日高病院 勤務（実習指導者）
卒業生	砂川 陽子	高崎歯科衛生専門学校 卒業生

※敬称略

4. 学校関係者評価委員会 実施日時

実施日時：2024年6月10日（火） 12：45～14：00

場 所：高崎歯科衛生専門学校 個別相談室

5. 学校関係者評価方法

2023年度の自己点検・自己評価報告書に基づき、評価項目の結果および課題、改善方策について以下の視点から評価を行った。なお各評価は4段階に区分している。

①自己点検・自己評価結果が適切かどうか

②背景や課題への認識が適切かどうか

③改善方策としての取組みが適切かどうか

（適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1）

※自己点検・自己評価についても同様に4段階評価となる。

II. 学校関係者評価結果

1. 教育理念・目標

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	4
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する 業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

変化する社会と進歩する歯科医療業界に対応できる人材を育成するために、社会や業界のニーズを的確に把握し、これからの社会に必要とされる人材像を明確化することが必要である。学生自身が卒業後の歯科衛生士人生をより明確に思い描けるよう、教育方針や育成人材像について、授業や実習をとおして繰り返し周知していく。

また、保護者等の関係者に対する教育理念、育成人材像を周知徹底が図れるように、広報活動において積極的に発信していきたい。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	3
②背景や課題への認識が適切かどうか	3
③改善方策としての取組みが適切かどうか	3

(学校関係者評価委員からのご意見)

- ・本校の卒業生が臨床で活躍しており、現場での評判も高いと感じる。
- ・歯科衛生士の仕事の魅力の伝え方が重要で、入学前から知ってもらうことが理想だが、入学後の学生がしっかりと目標を持てるよう指導に取り組んで欲しい。
- ・歯科衛生士を取り巻く環境は様々だが、学内教育では学生が希望を持てるように支援して

もらいたい。

2. 学校運営

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営方針や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

学校運営における意思決定機能の更なる効率化、有効化のための組織づくりと、教職員ソフトウェアにおける各種規則・規程掲載、共有化が必要である。そのために、教員から出る多様で建設的な意見の集約にかかる体制を整えるとともに、個人ではなく学年・プロジェクトなど組織単位で業務を遂行し、定期的な勉強会・ミーティングを実施し、評価・改善を行う。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	3
②背景や課題への認識が適切かどうか	3
③改善方策としての取組みが適切かどうか	3

(学校関係者評価委員会からのご意見)

- ・特筆すべきコメントはありません。

3. 教育活動（重点取組）

（自己点検・自己評価における評価）

評価項目	4段階評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

（自己点検・自己評価における課題認識や改善方策）

今年度より、教室環境整備に伴う教育機器等の刷新に伴い、カリキュラムをより実践的な内容に変更し、本格的なICT教育を開始した。これまで以上に、ICT機器を効果的に活用した、より質の高い教育が求められる。そのため、ICT機器の効果的な利活用についての実践的研究を行っていく。教員自身の授業評価アンケートや教員相互の授業参観及びフィードバック評価を有効に活用し、ICT機器の活用を含めた教員の指導力の向上を図るとともに、業界動向を踏まえた教育内容を具現化するために、実習先医療機関との情報交換

等も積極的に進めていきたい。

また、新入生に対する学習や生活支援等の強化のため、入学前教育プログラムに登校日を設けた。専門教育に対する理解を深めるために、入学前教育や初年度教育を見直したい。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	3
②背景や課題への認識が適切かどうか	4
③改善方策としての取組みが適切かどうか	3

(学校関係者評価委員からのご意見)

- ・臨床現場でもデジタル化が進んでいるので、学生のうちから活用していくことは即戦力となるので良いと思う。

4. 学修成果

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	3
・退学率の低減が図られているか	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

国家試験の合格率が全国平均を下回る結果となった。対策において効果の上がらなかった要因をしっかりと分析し、改善策を整える必要がある。そのため、3学年を見通して、学年ごとの目標を設定し、学習の定着度を把握しながら、国家試験対策ソフトなども有効活用して、個に応じた支援をしていきたい。

退学率についてはほぼ変わらず例年通りであった。退学率の低減については、継続的な取組みが必要であると認識している。学生への声掛けや保護者と連携しながら、生活と学業両

立のきめ細かなサポートを充実させることで退学者の減少を図りたい。

また、卒業生と連絡の取れる仕組みを整え、卒業生の活躍状況を把握し、実習施設や講師の開拓、学生の就職活動等に活かしていきたい。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	3
②背景や課題への認識が適切かどうか	3
③改善方策としての取組みが適切かどうか	3

(学校関係者評価委員からのご意見)

- ・学生を指導する立場で感じることは、大変なことに対して進んで取り組むことをしながらない印象がある。臨床実習・国家試験・就職といった目標を達成するためのサポートは、厳しく指導した昔に比べると、今は、優しく寄り添うことが必要だと感じる。
- ・学校として卒業生の動向については把握していただきたい。卒後研修なども実施していただくと良いと思う。

5. 学生支援

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	3
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

経済的な支援体制は整っているが、国の修学支援新制度の利用者は、約6分の1の学生である。新規継続等の手続きや経済状況の変化等の把握をきめ細かに行っていききたい。

近年、精神面でのサポートを必要とする学生が増加している。姉妹校カウンセラーの活用のほか、教員が学習以外の相談にも対応しながら、心身の健康管理に注意していききたい。

併せて、社会人のニーズを把握し、学びやすい環境を整備することが課題である。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
②背景や課題への認識が適切かどうか	3
③改善方策としての取組みが適切かどうか	3

(学校関係者評価委員からのご意見)

- ・学校での日々の学生に対する学習面、生活面、精神面のサポートは大変なことも多いと想像できるが、関係者や卒業生の協力も得ながら引き続き取り組んでいただきたい。

6. 教育環境

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
・防災に対する体制は整備されているか	4

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

本校では、社会の要請に応えられる歯科衛生士の育成に必要な最新の施設と設備を備えている。さらなる教育効果や学生の満足度向上に繋がるよう、施設・設備を効果的な活用について研究していききたい。

また、臨床実習施設については、歯科衛生士の活躍の場の多様化やチーム医療の実践に

対応できる人材の育成に不可欠であると認識し、実習施設等との更なる連携と情報共有に努めていきたい。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
②背景や課題への認識が適切かどうか	4
③改善方策としての取組みが適切かどうか	4

(学校関係者評価委員からのご意見)

- ・最新の施設と設備で学べる学生はとても恵まれているので頑張りたい。
- ・臨床実習指導者として、学校と情報共有し連携を図ることは重要だと思うので協力していきたい。

7. 学生の受入れ募集 (重点取組)

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は伝えられているか	4
・学納金は妥当なものとなっているか	3

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

少子化に伴う募集対象の減少や、高校の進路指導における大学進学意識の高まりの影響で入学者が減少傾向にある。本校のコンセプトをもとに、外部に向けた広報活動の目玉となる特色について精選し、SNS等を活用しながら適宜発信し、より認知度を上げていきたい。

また、募集対象人数の減少に対しては、県外へより積極的に募集活動エリアを拡げていくとともに、長期的な取り組みとして、職業に対する理解を広めるために、小中学生対象のキャリア教育授業などを実施し、歯科衛生士希望者の底辺拡大を図っていきたい。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
②背景や課題への認識が適切かどうか	3
③改善方策としての取組みが適切かどうか	4

(学校関係者評価委員からのご意見)

- ・本校は外部から一定の評価を受けていると思う。今後も本校の教育方針と、他校との差別化をしっかりと図ることが大切だと思う。
- ・職業的にまだまだ閉鎖的なイメージがあるかもしれないので、多様な働き方について情報発信してもらえると良いと思う。

8. 財務

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制準備はできているか	2

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定している。しかし、学校法人を取り巻く環境の変化や会計の厳格化を背景として、学校法人の経営状態を社会に対してより正確に、分かりやすくすること、そして適切な学校経営の判断に役立つものとするのが大切であるとの認識を持っている。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
②背景や課題への認識が適切かどうか	4
③改善方策としての取組みが適切かどうか	4

(学校関係者評価委員会からのご意見)

- ・特筆すべきコメントはありません。

9. 法令等の遵守

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
・自己評価結果を公開しているか	4

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

自己点検・評価内容について、学内で共通認識を持ち、課題の解決を行う組織体制を構築する。また、個人情報管理においては、情報機能の発達により日々進化や変化を遂げているため、最新の情報を入手しながら、管理指導の徹底を図っていきたい。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
②背景や課題への認識が適切かどうか	4
③改善方策としての取組みが適切かどうか	4

(学校関係者評価委員会からのご意見)

- ・特筆すべきコメントはありません。

10. 社会貢献・地域貢献

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）	3

の受託等を積極的に実施しているか	
------------------	--

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

本校は地域医療の人材を育成する教育機関であり、社会貢献や地域貢献、ボランティア活動等の取り組みを積極的に実施すべきであると認識している。学生のボランティア活動については、積極的に参加できるように情報提供や支援を実施したい。

新校舎の完成に伴い、近隣住民や関係団体への学内施設の貸し出しや、夏期休暇中の高校生への啓発活動を含めたロビー解放等の利用の仕方を検討していきたい。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	3
②背景や課題への認識が適切かどうか	2
③改善方策としての取組みが適切かどうか	3

(学校関係者評価委員からのご意見)

- ・施設が新しくなったので、ぜひ地域や関係団体へ貸出して、多くの人に学校と職業を知ってもらえると良いと思う。

1 1. 国際交流

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

現在留学生は在籍していないが、学園内の担当部署である留学生センターが設置されているので、今後の入学希望者受け入れに備えてサポート体制の維持に努めたい。

(学校関係者評価委員会における評価)

評 価 視 点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	3
②背景や課題への認識が適切かどうか	2
③改善方策としての取組みが適切かどうか	3

(学校関係者評価委員からのご意見)

・特筆すべきコメントはありません。

以上